

研修会報告

令和5年2月9日

文責：千田 和

研修会テーマ「他の施設はどうしている？内部精度管理の悩み解決相談会」

開催日時 令和5年2月4日（土） 14：00～16：20

会場 Zoom ウェビナーを用いた Web 開催

司会 東北医科薬科大学病院 小堺利恵

仙台医療センター 播磨晋太郎

生涯教育点数 専門教科 20 点

参加者 会員参加者 46名 賛助会員 2名

合計 48名

講演1「求められる内部精度管理と自施設の課題」

東北大学病院 診療技術部 検査部門 佐々木克幸 技師

パネルディスカッション「内部精度管理の実際と課題」

東北医科薬科大学病院 検査部 高橋瑞恵 技師

仙台市立病院 臨床検査科 小林航太 技師

宮城県立こども病院 検査部

株式会社 BML 武田敦子 技師

仙台赤十字病院 医療技術部 検査技術課

舛甚 満 技師

内容

今回の生物化学分析部門は「他の施設はどうしている？内部精度管理の悩み解決相談会」というテーマで、生化学免疫検査では避けては通れない精度管理について、他施設と情報を共有しながら、自施設の精度管理を見直す機会にして頂きたいという目的で、企画、開催した。

講演1では、まず、内部精度管理の概要、法改正や ISO 15189 で求められていることを説明頂き、それに基づき、東北大学病院での実際の運用・課題といった精度管理の全般を佐々木技師に講演頂いた。精度管理の一般的な考え方や意義を改めて学ぶことができ、さらに大学病院がどのように運用しているかを拝聴でき、大変貴重な機会となった。

パネルディスカッションでは、様々な規模の施設及びブランチ施設の講師4名に、自施設の状況と課題を講演頂いた。4名の講師の方々には、各施設の内部精度管理の実施タイミング、確認方法、再検基準や、精度管理幅の設定方法、精度管理に関する記録類の作成状況などを中心に講演頂いた後、日頃の課題・疑問を討論して頂いた。それぞれ、異なった規模や、ISO 15189 の取得の有無など、様々な背景を持つため、違った課題・疑問を抱いていた

反面、同じような悩みもあり、非常に興味深いディスカッションであった。

今回の研修会では、聴講者から、「他施設の運用を聞くことができ、とても参考になった」「同じような悩みを抱えていることが分かった」「自施設の運用を検討するきっかけになった」などの声を頂いた。また、新人からベテランまで幅広い層の方々に参加頂いた。今後も、アンケート結果を参考に、宮城県臨床検査技師会員が学びたいと思うテーマの研修会を開催していきたい。